

番	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	3番議員 矢野 修一  「一括方式」 (約40分)	九州道南関インターチェンジ周辺の開発と土地利用について  役場庁舎への県道側進入口の道路整備について	南関インターチェンジ(IC)周辺エリアには、観光スポットのアクセスや産業・商業施設が少ないため地域の発展には工夫が必要である。この地域の潜在的な価値を引き出し持続的な発展を促すための取り組みと課題を尋ねる。  役場への進入口が曲がりくねっている形状で視界の遮りや歩行者の安全等危険や課題が生じる。直線化を求める。	町長  町長
2	8番議員 井下 忠俊  「一括方式」 (約90分)	がん教育とアピアランスケア(外見支援)について  町政懇談会について	1 南関町で、がんと診断されている方の人数について尋ねる。 2 がん教育の現状と今後について尋ねる。 3 アピアランスケアに対する町の考えと、今後の支援について尋ねる。  1 参加人数、及びその内容について尋ねる。 2 今後の開催について尋ねる。	町長 教育長  町長
3	1番議員 福山 美佳  「一括方式」 (約75分)	小中学生の不登校といじめについて	1 不登校の児童生徒の現状と対応について尋ねる。 2 フリースクールの利用状況について尋ねる。 3 フリースクール認定制度、及びフリースクール等利用料補助金の導入について町の考えを尋ねる。 4 いじめの現状とその対応について問う。 5 教育現場が適切かつ迅速に対応するための指針となる不登校対応マニュアル、及びいじめ対応マニュアルの策定検討について町の考えを尋ねる。	町長 教育長

4	<p>2番議員 伊藤 博長</p> <p>「一括方式」 (約45分)</p>	<p>荒廃農地の現状と対策について</p>           <p>環境保全型農業直接支払交付金制度について</p>	<p>南関町の農村は農業者の減少、農地所有者（土地持ち非農家）の不在村化が進行しており、荒廃農地が増え、イノシシも過去最高に増えている。</p> <p>現在、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金制度による対象の農地はかろうじて守られていると思うが、対象外の農地が特に荒廃している。</p> <p>また、対象の農地でも荒廃農地予備軍が多く今後急速に増えることを懸念している。町の荒廃農地対策について問う。</p> <p>① この対象外の農地はどれくらいあるのか。（面積と比率％）</p> <p>② 特に対象外の農地が多い地区はあるか。</p> <p>③ 荒廃農地対策をどのように考えているか。</p>   <p>南関町では、国が推奨している環境保全型農業直接支払交付金制度の利用が活発でないと感じている。推進しない理由について問う。</p>	<p>町長</p>                    <p>町長</p>
5	<p>5番議員 北原浩一郎</p> <p>「一括方式」 (約60分)</p>	<p>健康寿命を延ばす施策について</p>	<p>超高齢社会が進む中、単に長生きするのが目的ではなく、健康で長生きすることが重要となる。町民には元気で生き生き心身共に健康で天寿をまっとうするサクセスフルエイジングを生きていただきたい。そのためには、町の柔軟で責任ある施策が必要である。</p> <p>① 南関町の最近の健康寿命と平均寿命を尋ねる。</p> <p>② 健康寿命を延ばす3つの柱とされる「適度な運動」「噛む力を鍛える食生活」「社会参加」について、それぞれ開催されている施策と現状を尋ねる。</p> <p>③ 健康寿命日本一宣言の町への提言</p> <p>④ 健康寿命日本一宣言の町を目指すための提案</p>	<p>町長</p>
6	<p>7番議員 杉村 博明</p> <p>「一括方式」 (約90分)</p>	<p>町道楮原～萩谷線の拡幅について</p>   <p>企業誘致関連について</p>	<p>以前、区より要望があっていたと思うが、一向に計画が進んでいないのは何故か伺う。</p>   <p>企業誘致関連が、ここ数年進んでいない。この企業誘致関連については、以前も一般質問を行ったが以前と比べて進捗状況を問う。</p>	<p>町長</p>   <p>町長</p>